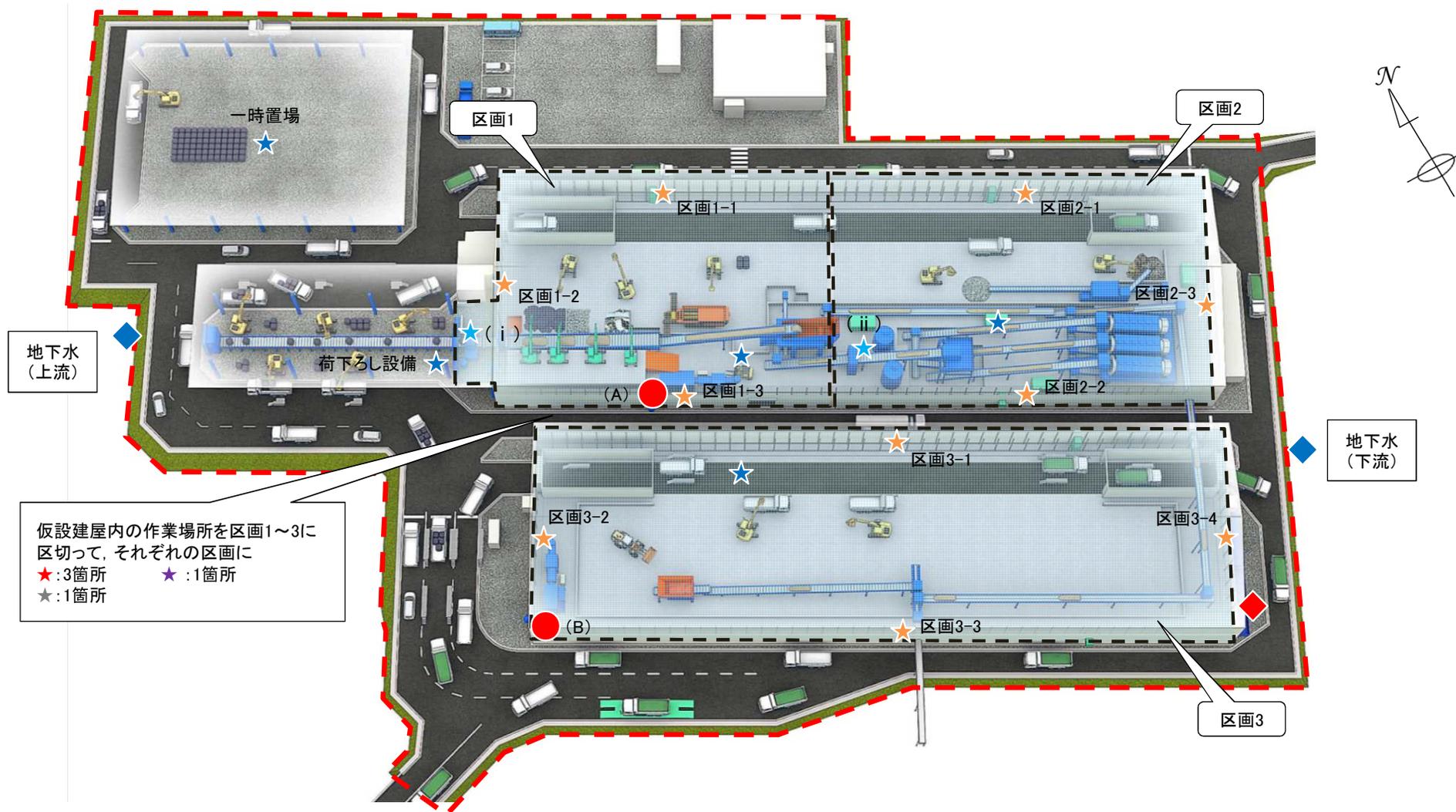


受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



仮設建屋内の作業場所を区画1～3に区切って、それぞれの区画に
 ★:3箇所 ☆:1箇所
 ★:1箇所

★:施設の位置



【凡例】

- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
- : 排気中の放射能濃度
- ◆ : 排水中の放射能濃度
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(壁)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- - - : 敷地境界線

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND
	2020/3/5	(稼働後)	14	7.2	ND
下流	2019/7/24	(稼働前)	14	5.0	ND
	2020/3/5	(稼働後)	15	10	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/3/4 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
		集じん機A
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
	区画1-1
区画1-2	0.5
区画1-3	0.4
区画2-1	0.4
区画2-2	1.5
区画2-3	1.2
区画3-1	0.9
区画3-2	1.1
区画3-3	0.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
	区画1
区画2	0.15
区画3	0.28
荷下ろし設備	0.30
一時置場	0.60

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	区画1	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2020/3/12 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
	床	区画1	ND
区画2		ND	
区画3		ND	
壁	区画1-1	ND	
	区画1-2	ND	
	区画1-3	ND	
	区画2-1	ND	
	区画2-2	ND	
	区画2-3	ND	
	区画3-1	ND	
	区画3-2	ND	
	区画3-3	ND	
	区画3-4	ND	
	設備	(i) 破袋機操作盤	ND
		(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24 (稼働前)		12	8.1	ND
	2020/2/6 (稼働後)		17	9.8	ND
下流	2019/7/24 (稼働前)		14	5.0	ND
	2020/2/6 (稼働後)		14	8.8	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/2/5 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2020/2/14 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	ND
区画1-2	1.2
区画1-3	0.3
区画2-1	0.9
区画2-2	1.5
区画2-3	0.8
区画3-1	0.6
区画3-2	0.8
区画3-3	1.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/17 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.21
区画2	0.16
区画3	0.32
荷下ろし設備	0.34
一時置場	0.53

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/17 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/2/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	区画1	ND	
	区画2	ND	
	区画3	ND	
壁	区画1-1	ND	
	区画1-2	ND	
	区画1-3	ND	
	区画2-1	ND	
	区画2-2	ND	
	区画2-3	ND	
	区画3-1	ND	
	区画3-2	ND	
	区画3-3	ND	
	区画3-4	ND	
	設備	(i) 破袋機操作盤	ND
		(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND
	2020/1/9	(稼働後)	19	5.4	ND
下流	2019/7/24	(稼働前)	14	5.0	ND
	2020/1/9	(稼働後)	16	5.6	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/1/8 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	0.2
区画1-2	1.5
区画1-3	2.6
区画2-1	1.9
区画2-2	1.8
区画2-3	1.5
区画3-1	0.4
区画3-2	0.5
区画3-3	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/15 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.19
区画2	0.16
区画3	0.34
荷下ろし設備	0.39
一時置場	0.60

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/15 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	区画1	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2020/1/15 (稼働後)		
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
床	区画1	ND	
	区画2	ND	
	区画3	ND	
壁	区画1-1	ND	
	区画1-2	ND	
	区画1-3	ND	
	区画2-1	ND	
	区画2-2	ND	
	区画2-3	ND	
	区画3-1	ND	
	区画3-2	ND	
	区画3-3	ND	
	区画3-4	ND	
	設備	(i) 破袋機操作盤	ND
		(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND
	2019/12/5	(稼働後)	19	8.8	ND
下流	2019/7/24	(稼働前)	14	5.0	ND
	2019/12/5	(稼働後)	14	8.3	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/12/4 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/12/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	ND
区画1-2	0.6
区画1-3	0.3
区画2-1	0.6
区画2-2	0.8
区画2-3	1.7
区画3-1	0.8
区画3-2	0.7
区画3-3	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.23
区画2	0.17
区画3	0.31
荷下ろし設備	0.40
一時置場	0.64

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/11 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/12/11 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	区画1	ND	
	区画2	ND	
	区画3	ND	
壁	区画1-1	ND	
	区画1-2	ND	
	区画1-3	ND	
	区画2-1	ND	
	区画2-2	ND	
	区画2-3	ND	
	区画3-1	ND	
	区画3-2	ND	
	区画3-3	ND	
	区画3-4	ND	
	設備	(i) 破袋機操作盤	ND
		(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND
	2019/11/7	(稼働後)	29	6.5	ND
下流	2019/7/24	(稼働前)	14	5.0	ND
	2019/11/7	(稼働後)	14	8.3	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/11/6 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/11/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	ND
区画1-2	0.9
区画1-3	0.3
区画2-1	0.7
区画2-2	1.5
区画2-3	1.4
区画3-1	0.6
区画3-2	0.6
区画3-3	0.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.29
区画2	0.20
区画3	0.36
荷下ろし設備	0.40
一時置場	0.43

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/14 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/11/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
	区画3	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
	区画3-1	ND
	区画3-2	ND
	区画3-3	ND
	区画3-4	ND
	設備	(i) 破袋機操作盤
(ii) 改質機操作盤		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND
	2019/10/3	(稼働後)	53	5.5	ND
下流	2019/7/24	(稼働前)	14	5.0	ND
	2019/10/3	(稼働後)	15	7.6	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/10/2 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆ 排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★ 粉じん濃度

測定地点	2019/10/3 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	0.2
区画1-2	0.4
区画1-3	0.5
区画2-1	0.6
区画2-2	0.5
区画2-3	0.5
区画3-1	0.4
区画3-2	0.5
区画3-3	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2019/10/9 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.21
区画2	0.19
区画3	0.41
荷下ろし設備	0.50
一時置場	0.77

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/9 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	区画1	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/10/9 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	区画1	ND
	区画2	ND
	区画3	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
	区画3-1	ND
	区画3-2	ND
	区画3-3	ND
	区画3-4	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND
	2019/9/5	(稼働後)	27	6.3	ND
下流	2019/7/24	(稼働前)	14	5.0	ND
	2019/9/5	(稼働後)	14	8.0	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/9/5 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/5 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	0.1
区画1-2	3.6
区画1-3	0.6
区画2-1	1.5
区画2-2	3.0
区画2-3	2.1
区画3-1	1.0
区画3-2	1.0
区画3-3	1.0

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/11 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.25
区画2	0.18
区画3	0.39
荷下ろし設備	0.42
一時置場	0.60

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/11 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	区画1	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/9/11 (稼働後)		
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
床	区画1	ND	
	区画2	ND	
	区画3	ND	
壁	区画1-1	ND	
	区画1-2	ND	
	区画1-3	ND	
	区画2-1	ND	
	区画2-2	ND	
	区画2-3	ND	
	区画3-1	ND	
	区画3-2	ND	
	区画3-3	ND	
	区画3-4	ND	
	設備	(i) 破袋機操作盤	ND
		(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊④工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND
	2019/8/22	(稼働後)	27	17	ND
下流	2019/7/24	(稼働前)	14	5.0	ND
	2019/8/22	(稼働後)	15	7.7	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/8/23 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/23 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	0.2
区画1-2	0.3
区画1-3	0.3
区画2-1	0.4
区画2-2	0.9
区画2-3	0.7
区画3-1	0.3
区画3-2	0.3
区画3-3	0.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/26,29 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.27
区画2	0.19
区画3	0.40
荷下ろし設備	0.43
一時置場	0.69

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/26 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
区画1	ND
区画2	ND
区画3	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/8/26 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	区画1	ND
	区画2	ND
	区画3	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
	区画3-1	ND
	区画3-2	ND
	区画3-3	ND
	区画3-4	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²